

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	5	利用者人数が多い時は室内組・外出組のグループ分けをしスペースの確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	6		・職員数に対して児童数が適切であるか検討し受け入れを行っている。 ・ご利用希望の多い日は、同法人の他事業所から職員の応援を受けている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3	2	・室内は比較的シンプルな構造であり、児童にはどこに何があるか分かるよう、視覚の情報を取り入れている。 ・室内にあるロッカーや棚が児童の上りやすい高さの為、今後対応が必要と思われる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2		・毎日の清掃は必ず行っている。 ・その都度消毒を行っている。 ・床には厚みのあるマットを敷き、転倒などへの配慮を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	1	・毎週水曜日、半日使い、情報の共有と会議を行っている。 ・毎日の朝礼と振り返りのミーティングを行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	2	・送迎の時間に保護者との会話で情報収集するよう心掛けている。 ・保護者とゆっくり時間を取って話す機会があまりないので、時間づくりが出来るよう改善していきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4	2	ホームページにて公開を行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	4	第三者評価は行っていないが、法人内の訪問看護や別事業所の職員から第三者的視点で、事業所の評価を頂いている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		・月に一度以上、社内研修を行っています。 ・外部研修にも積極的に参加し伝達講習を行い、資質向上を目指している。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	2		・支援会議を行い、児童の課題を分析し支援計画を作成している。 ・保護者とアセスメントを行う時間が短いと感じるので、確保 出来るよう時間を作っていきなさいと思いき 感覚統合など標準化されたアセスメントツールを使用して評価を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	1	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	6		児童発達支援計画には「発達支援」で記されている支援内容が中心となっており、「家族支援」、「地域支援」についての部分が不十分だと思います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	2		・支援の内容については、連絡帳の下敷きに記載し、支援方法をご家族、職員で共有認識し支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2		リーダーが中心となり、職員の意見をまとめ、活動プログラムの組み立てを行っている。

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童の状況や状態により、対応を工夫している。 ・その日の児童の様子から、活動内容を変更する時もある。 	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達に応じながら活動を行っている。 ・お友達との集団活動、職員との個別活動を考えながら作成している。 	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせを毎日行い、その日の活動内容等を確認している。 ・活動内容はその都度職員が確認できるよう、支援室に掲示している。 	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	6		<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに振り返りを行うよう努めている。 ・問題点があればすぐに職員間で話し合いを行っている。 ・気付いた点はその日のうちに、記録するよう努めている。 	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・担当したスタッフが、児童の行動、情緒等気づいた事があればすぐに記録している。 ・振り返りの時間で、検証・改善に努めている。 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	1	定期的に支援会議を行い、見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5		担当者会議には、児童発達支援管理責任者、社会保健福祉士、療法士が適宜参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9			子ども発達センターと定期的に意見交換や情報の共有を図り、連携を取りながら支援を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、担当保健師の方と情報の共有を図り、支援を行っているが、定期的な連携はとれていない。 ・今後地域の保健師や保育の関係機関と定期的に連携をとっていきたい。 ・関連事業の訪問看護ステーション所属の看護師と連携をとり支援を行っている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児童には、医師からの『指示書』を頂き、支援にあつたている。 ・発作等や緊急時の対応については『指示書』に記載して頂き連絡体制を整えています。 ・医師との直接的な連携までは行われていない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3		相互に見学等を実施し、情報共有を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	8		※対象児がいない
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5	1	市で企画される、子ども発達センターや関係事業所の連絡会・研修などに積極的に参加し、専門機関との連携をとっている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		8	利用している半数以上の児童が、保育所や認定こども園、幼稚園に通っている為、活動の機会を設けていません。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	5		なかなか時間を作ることが出来ず、参加できていない。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2		・送迎時利用時の様子を伝えるようにしている。 ・日々の送迎時、保護者との共通理解を持ち、支援に関わるよう努めている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	3	4	・家族支援プログラムに関しては十分とは言えない。 ・今後職員がペアレント・トレーニングの研修を受講する等検討し、取り入れていきたい。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	3		同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	3		定期的ではないが、悩み事の相談には随時対応している。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2		・年に一度保護者会を行っている。 ・親の会を定期的に行っている。 ・親の会の開催が平日に行われているため、参加出来ない保護者もいる点が課題である。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		相談等の申し入れがあった時点で、時間の調整を行い、迅速かつ適切に対応するように心掛けている。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	1	・定期的にきぼう便りを発行している。 ・きぼう祭り・ふれあい参観などの行事を設け、活動内容・情報共有を行っている。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	4		鍵付書庫などで書類を管理する等、取扱いには注意をしている。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	3		極力配慮するよう努めている。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	7		・事業所の行事に招待する事は現状では難しい。 ・違った方法で地域住民に理解してもらえよう、検討していきたい。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	4	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		1	・年に2回行っているが、保護者への報告が十分ではない。 ・訓練を行った際は、訓練の内容・様子等をきぼう便りにて報告していきたい。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9			・契約時に服薬やアレルギーの有無、予防接種等の情報収集を行っている。 ・てんかん発作の児童は、医師より『指示書』をいただきたい、発作時の対応策を確認している。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7	1	1	アレルギーを持っている児童は、保護者から情報を頂き対応している。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			マニュアルを作成し全職員が対応し、共有している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			虐待研修には毎年参加し、社内で伝達講習を行っている。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	6		・災害時や緊急時の特記として示す必要があるのではない かと思う。 ・現時点で身体拘束の記載が必要と思われる児童はいない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。